



2月17日

おめでとうございます

青少年育成町民会議より表彰状・感謝状授与

感染症拡大が重くのしかかり、いろいろと気疲れの多い日が続くなかですが、これまで諸活動を通じて子ども達に寄り添っていただきありがとうございました。子ども達も心身共に制約下に置かれ、不自由な毎日を余儀なくされていることと思いますが、その一方で、持てる力を発揮して頼もしく活躍する姿にも接し、委員の皆さんのお蔭と感謝いたしております。今回の青少年育成町民会議総会も「まん延防止重点措置」期間が延長され、予定しておりました総会も中止とし、書面開催に代えさせていただくこととし、今年度の活動のまとめを掲載した資料をお届けいたしました。

表彰状・感謝状は学校を通して、校長先生から手渡して頂きました。

令和3年度の受賞者

表彰状及び感謝状		標語入賞(いなつびより既報)	
表彰状	神田 玲(小3) 全日本卓球選手権カプの部出場 全国ホープス選抜卓球大会出場	青少年育成 町民会議 最優秀賞	伊藤 涼星(小3)
	内田 有香(中3) 少年の主張岐阜県大会優秀賞		小本曾光琉(小6)
	安藤 心菜(中3) 明るい選挙ポスターコンクール岐阜県特選		加藤 妃向(中2)
感謝状	岩島 拓夢(中3) 明るい選挙ポスターコンクール岐阜県特選	稲津支部長賞 社会福祉 協議会	西尾 直起(中3)
	和田 宏 稲子連会長		伊藤 聡真(小2)
	井籠 健人 稲子連総括指導者		木村 駿介(小6)
	小栗 治徳 長年にわたる通学路危険箇所における見守り		勝股 洸斗(中1)
	樫本 圭吾 長年にわたる通学路危険箇所における見守り		三浦 世成(中3)



学級紹介

寿大学

稲津寿大学は、教養を高め健康と福祉を増進し、生活の向上並びに長寿社会の形成と親睦を計ることを目的とし、稲津町内の60歳以上の方に入学していただけます。

現在59名の方が加入していますが、新型コロナウイルス感染症は高齢者の重症化率が高いということで自粛し、昨年度に引き続き学習会は中止しております。

【卓球クラブ】

メンバーは21名。公民館の貸館が可能になると、卓球クラブは感染対策をしながら少人数で活動を再開しました。

外出できること・体を動かすこと・間隔を取りながらもお話ができることを楽しんでみえます。



小学校家庭教育学級

家庭教育学級は、親や子育てに関わっている大人の「学びの場」です。小学生を持つお母さんを中心に、コロナ前は年に6回学習会を開催していましたが、今年度は1回開催しました。

【マスク生活を快適に!】

今では日常生活に欠かせないマスク。少しでも気分よく着用できるように、マスクプレーを作りました。精油やエタノールを調合し、好きな香りのアロマオイルでプレーを作りました。ボトルもアレンジし自分好みの物ができました。



ii-nuts!!ギャラリー

季節のロビー展示開催中

桃の節句

吊るし雛をたくさん飾ってみたいくて、フェルトの吊るし飾りを職員で作成してみました。本格的な吊るし雛とは違った趣ですが、ロビーを明るくかわいい雰囲気にしたと思います。

皆さんもおうち時間を楽しんでみてはいかがでしょうか。



3月の稲津さん

稲津を花いっぱい!

中山 陽翠 さん 35歳(羽広) 株式会社 中山園芸



公民館のロビーが華やかに!年末に瑞浪市へ500鉢のシクラメンを寄贈され、その中から公民館に10鉢いただきました。まちづくり事業の「花いっぱい運動」でもお世話になっています。

「以前は臨床検査技師をしていましたが、8年前に先代から受け継ぎ4年前に法人化しました。」

「技師と家業のどちらを選ぶかと考えたときに、子どもの頃から身近で興味があったのと、家族と一生を共にしたいとの思いがあり決意しました。会社や50名の社員のことは、家や子どもを守るように自分のこととして考えています。大変なときもありますが、それを乗り越えることが楽しいです。」

「ハウスは約50棟、30品目・200品種を扱っています。植物の気持ちを考え、状態をくみ取り、環境を整えながら全て手作業で育てています。毎日見ていると読み切れないときもあって難しいですが、これもまた表裏一体で楽しくやりがいがあります。今後は、少しでも事業を拡大できるよう頑張っていきたいと思っています。」

～語り継ぐふるさと稲津の自然遺産～

小里城跡整備作業・祈願祭

御殿場跡の草刈り・登山道整備を行い、本丸跡では祈願祭をとりおこないました。整備は広範囲の作業になりますので、皆さまのご協力をお願いします。

御殿場は桜の名所です。昨年4月第1土曜日は、満開を過ぎ桜吹雪がきれいでした。

◎日時: 4月2日(土) 9時 整備作業(現地集合) 10時頃 山頂本丸跡にて祈願祭

◎持ち物: 草刈り機・くまで・カマなど
ご協力いただける方は3月29日(火)までにご連絡ください。
小里城頭彰会(稲津公民館 ☎68-3201)

屏風山 山開き 祈願祭

登山者の安全を願って

◎日時: 4月9日(土) 集合9時(祈願祭11時頃)
◎集合場所: 稲津公民館 登山口まで乗り合わせて行きます。また、お好きな山道から登られ山頂での祈願祭に参加も大歓迎です。

◎持ち物: 弁当・飲み物・雨具
◎申込み: 公民館からの乗り合わせをご希望の方は事前申込みが必要です。希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。
稲津公民館 ☎68-3201

◎締切り: 4月1日(金)

人	1月1日現在		2月1日現在		増減
	男	2,070 人	2,073 人	3	
口	女	2,148 人	2,147 人	-1	
	計	4,218 人	4,220 人	2	
世帯数		1,708 世帯	1,709 世帯	1	

	不燃ごみ		ビン・缶・ペットボトル・紙類・古着	
	3月16日	3月25日	3月15日	3月24日
小里	4月14日	4月22日	4月13日	4月21日
萩原				

時 館本「ム」

「蜜の光、窓の雪...」(蜜の光)「仰げば尊し、わが師の恩...」(仰げば尊し)が我々の時代の卒業式の定番曲でした。今は、「白い光りの中で...」(旅立ちの日に)「拝啓この手紙...」(手紙)「十五の君へ」など合唱ソングに様変わりしてきました。

時代が変化しても変わらないのは卒業は別れの時であると同時に新しい友や恩師との出会うの時であり、人としてステツアップするための時、専門的な学びができる時であり、社会人としての責任を自覚する時、卒業式とは自らの目標をかなえるための階段を上る時なのかも知れない。

中島みゆきの「時代」では「今はこんなに悲しくて...」「そんな時代もあったわね」といつか笑える日が来るわ...松田聖子の「瑠璃色の地球」では「夜明けの来ない夜はない」と...等、未来を明るく歌う曲も数多くある。

今の努力は自らの未来を明るく、笑える日が来るための糧となる時が来るはずだ。

Creedenceの「星影のエル」では人生の困難を乗り越えた時、周りの人たちの大切さを歌っています。あなたにとっての大切な人は誰でしょう。小学校、中学校、高校そして大学とすべての卒業生にYELLを送ります。

稲津に住み続ける方、出ていく方すべての方が稲津を愛することが出来る時が来ることを期待します。